

島崎 恒守

福井県福井市

PRポイント：地域に貢献して人も村も元気になる農業を目指しています。

設立年月：平成24年1月

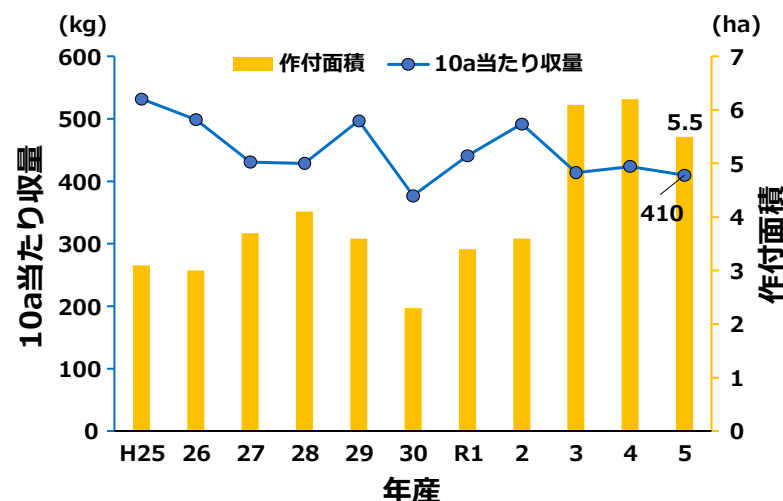
構成員：4名

基幹作物：大麦 5.5ha、水稻 34.6ha、大豆 4.2ha、…（R5）

特徴：当地区は湿田であるが、**排水対策**に力を入れ**発芽を早期に促進**させ**莖数確保**に努めている。

農地中間管理機構で集約できた圃場を、**畦畔除去&レーザー均平**で**大区画化**することで**作業効率アップ**を図る。

10a当たりの作業時間は、平均で約**2.5時間**。



栽培のポイント

- 湿田のため、フルクローラー120ps 1台で全ての作業を行う。**土壌改良剤散布、額縁溝、サブソイラ施工による排水対策を実施。**また、**播種と除草剤スプレーを1工程で行う。**全ての作業で土を練らないように努めている。
- 集約できた圃場は約2haに拡大し、10a当たりの**作業効率の向上**を図っている。
- 4年前から農業用ドローンを導入し、**麦の2回の赤かび病の防除はドローンにより実施。**



経営のポイント

- フルクローラートラクター、汎用コンバインは2台とも10年前に中古で取得し、整備は足回りを始め全て自分と息子で行う。まだ10年ほどは使用できると思う。
- 現在3集落も農地中間管理機構による**農地集約進行中**で、**転作麦を25%~30%にして年間作業の効率化**を図りたい。

大麦生産の課題

- 現在は私（恒守氏）が中心でやっているが、**今年から息子夫婦に交代**する。
- 肥料などの資材費の高騰や、**圃場がバラバラで転作できない**集落がある。



- 目標単収を450kg以上**にしたい。
- 農地中間管理機構による**農地集約を図り、用水路ごとの団地化**を進めたい。
- 有機物の散布で肥料費の削減**を図りたい（大豆クズ、鶏糞等）。

今後の展望

- 現在の2年3作を**3年5作**として**麦を2年続けて作付けし、大豆あとに有機物を散布して2回目の麦の収量を見極め**たい。



- 米、野菜など**直売を増やすため、キッチンカーでおにぎり等の販売**をやってみる。